

あわみなと通信

暮らしを支える港湾と空港の話

令和2年4月1日付けで事務所長を拝命しました新見泰之です。よろしくお祈いします。
縁あって今回が4度目の小松島港湾・空港整備事務所勤務となります。

当事務所に最初に勤務した平成16年度当時と今を比較しますと、港湾整備事業では沖洲(外)地区のフェリー岸壁の整備や赤石地区へのコンテナターミナルの移転、空港整備事業では滑走路2,500mへの延長、海岸保全施設整備事業では撫養港海岸直轄海岸保全施設整備事業の完了など重要な社会基盤整備が着実に進んでおります。

引き続き、地域の意見をしっかり聞きながら地域の期待に応えられるような港湾、空港等の整備事業に加え海洋環境整備事業に事務所一丸となってしっかり取り組む所存です。

以上簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。今後ともよろしくお祈いします。

令和2年4月1日 小松島港湾・空港整備事務所長 新見 泰之

はやいもので私が小松島に赴任してから3年が経ちました。この度、異動となり、4月からは高松での勤務となります。関係者の皆さまには、本当にお世話になりました。我が事務所は小松島市に在り、私も市民、小松島市は本当に住みやすく良い街だと思ひます。港から見上げる日の峰、ことに「ここしかない!」という位置に御座す「日の峰神社」(夜の姿がとても美しいです)や、逆に日の峰から見下ろす穏やかな小松島湾の眺めは、とてもいい感じで大好きでした。最後に、今後とも「あわみなと通信」をよろしくお祈いして挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

令和2年3月18日 小松島港湾・空港整備事務所長(4月1日からは前所長) 小田 幸伸

もっと、自分たちの住む地域を知るため、まずは港へ行こう!! ~小松島高校生出前講座~

小松島高校は、横須海岸の松林の育樹活動を約20年続けており、また海岸清掃(リフレッシュ瀬戸内というボランティア活動)にも毎年参加しています。そんな小松島高校の生徒を対象に地域と港の関係を学ぶ出前講座(2月13日)を行いました。

出前講座では、事務所の海洋環境整備船「みずき」が、船舶の安全確保、海洋の環境保全のために海の浮遊ゴミを日々回収していること、私たちの身の回り品の多くが海外からの輸入によるものであり、こういった輸出入の拠点として船舶が入港している港の役割について事務所の港湾業務艇「ひのみね」に乗り説明し、海洋環境整備事業が自身の生活に深く関わっていることを伝えました。加えて、「みずき」が被災地へ遠征して、災害がれきを回収したことも紹介しました。

また、生徒達が参加している海岸清掃が海洋の環境保全にも役立っていること、大切にしている松林が防風林、防砂林として背後の住宅を守っていること等を説明しました。

生徒達からは、浮遊ゴミの回収方法やクルーズ船のツアー等についての質問がありました。講座後のアンケートでは、「参加していたボランティアが単なるゴミ拾いではなく、地域の環境保全のために大切なことだという印象が変わった」、「浮遊ゴミを回収してくれている人達がいると知ったので、僕も海をきれいにしていけるよう心がけたい」、「港といえば漁港というイメージが強かったが、物流という私たちの生活に必要な場所という印象が変わった」等の(港への興味をもってもらった)感想をいただきました。

今回の出前講座で、生徒達の活動の意義を再確認してもらうとともに、港湾都市小松島が生活を支えていることを理解してもらえたと感じました。

これからも出前講座を通じて港湾行政をPRすることで、港の役割や事務所の仕事を多くの皆さんに知ってもらおうと思ひています。



「ひのみね」に乗り港を探検!

海洋環境整備についてお勉強
(場所:みなとオアシス2階 交流センター)